

日本天文学会2011年 秋季年会のお知らせ

東日本大震災で被災された関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。筑波大学で予定しておりました2011年春季年会は中止となり、秋季年会は、東北大学（宮城県仙台市）を予定しておりましたが、場所を変更し、日程を1日延ばして、2011年9月19日（月）から9月22日（木）までの4日間、鹿児島大学（鹿児島県鹿児島市）にて開催します。プログラムや交通案内等は、天文月報の第104巻9月号(2011年8月20日発行)に掲載予定です。

2011年秋季年会より、講演登録費は、講演申込時にお支払いいただく事になります。これまでは、年会会場でお支払いいただいておりましたが、支払い方法が変更になりましたのでご注意ください。

(1) 料金表

項目	会 員	非会員	備考
参 加 費	3,000 円（不課税） （ただし会員で講演ありの場合、参加費は無料）	5,000 円（消費税込み）	
講演登録費	3,000 円（不課税）	5,000 円（消費税込み）	（1講演につき）
講演予稿集	2,000 円（消費税込み）	2,000 円（消費税込み）	

※ 会員として年会に参加を希望される方は、講演申込時までに、必ず入会の手続きを済ませてください。

（6月7日（火）までに入会申込書をお送りいただく必要があります。）

講演申込時点での会員種別で、料金をお支払いいただく事になりますのでご注意ください。

※講演申込をされた方は、以下に記す支払い期間内に料金をお支払いください。

※事前にお支払いがない場合は、別途事務手数料（1,000円）を請求させていただきます。

※講演なしで参加のみの場合は、従来どおり当日年会受付にて参加費を現金でお支払いください。

・講演申込時にお支払いいただく料金

会 員：講演登録費 3,000円（1講演につき）

非会員：参加費 5,000円 + 講演登録費 5,000円（1講演につき）

※講演予稿集は、予約され会費と一緒に料金を支払われている方には事前にお送りします。それ以外の方で、講演予稿集が必要な方は、上記の金額に2,000円を足してお支払いください。年会会場でお渡しします。

（例：会員で1講演申し込み、予稿集を追加した場合は、3,000円+2,000円=5,000円の支払い）

（例：非会員で1講演申し込み、予稿集を追加した場合は、5,000円+5,000円+2,000円=12,000円の支払い）

※お支払いいただいた参加・講演登録費は、原則として返金いたしません。

・支払い期間

2011年6月14日（火）～ 6月26日（日）

※ 海外在住者など、この期間内にお支払い困難な方は、年会係(committee2011@nenkai.asj.or.jp)までご連絡ください。

・支払い方法

●郵便振替

0 0 1 0 0 - 2 - 5 6 6 3 9 6 （社）日本天文学会 年会

※ゆうちょ銀行備え付けの振替用紙をご利用ください。

※ 通信欄に 会員番号（非会員の方は9999）、講演受付番号をお書きください。

●銀行振込

銀行名：三菱東京UFJ銀行

支店名：三鷹支店

口座番号：普通4434400

口座名義：社団法人日本天文学会

（シャダンホウジンニホンテンモンガツカイ）

※ 振込人の名前の前に、会員番号（非会員の方は9999）をお書きください。

(2) 受付期間および連絡先

事 項	受付期間・期限	関連項目	
講演申込期間	(郵 送)	2011年6月20日(月) 必着	(3)、(4)、(5)、(6) 参照
	(電子メール)	2011年6月14日(火) 正午～6月21日(火) 正午 (注1)	
講演登録費支払い期間	2011年6月14日(火) ～6月26日(日)	(1) 参照	
複数講演の順序指定	2011年6月28日(火) 正午まで	(7) 参照	
ポストデッドライン・ペーパー	2011年9月6日(火)正午まで	(8) 参照	
最新情報コーナー	年会会期中まで	(9) 参照	
保育室の利用申込	設置検討中, 詳細は年会Webページ	(10) 参照	
講演の変更など	わかった時点ですぐに	(11) 参照	
各種の会合申込	2011年8月23日(火)正午まで (注2)	(12) 参照	
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦	秋季年会では原則開催しません	(13) 参照	
懇親会	開催検討中, 詳細は年会Webページ	(14) 参照	
旅費一部補助	2011年7月20日(水) 必着	(15) 参照	
ジュニアセッション講演申込	2011年9月7日(水)	本号「ジュニアセッションのお知らせ」参照	

(注1) 電子メールの自動受付は6月22日(水)午前9時まで行いますが、6月21日(火)正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として6月21日(火) 正午までに投稿してください。

(注2) 2011年6月28日(火) 正午までに申込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

連絡先

◆年会実行委員会 委員長 幸村孝由 (年会理事・工学院大学)

e-mail: committee2011@nenkai.asj.or.jp 電話/FAX: 042-628-4113

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係

e-mail: committee2011@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会準備幹事 半田利弘 (鹿児島大学)

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-35

e-mail: handa@sci.kagoshima-u.ac.jp 電話 (学科事務室): 099-285-8089 FAX: 099-285-8088

年会開催期間(2011年9月19日～22日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3) 分野と「企画セッション」

- 講演分野は次の18分野です。

J.高密度星, K.超新星爆発, L.太陽系, M.太陽, N.恒星, P1.星形成, P2.系外惑星, Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核, T.銀河団, U.宇宙論, V1.地上観測機器(電波), V2.地上観測機器(その他), W1.飛翔体観測機器(X線・γ線), W2.飛翔体観測機器(その他), X.銀河形成, Y.天文教育・その他

- 「企画セッション」はありません。

(4) キーワード

- ・分野のあとにキーワードを記入してください。プログラム編成の参考にします。
- ・観測機器分野(地上・飛翔体)で、関連の深いプロジェクト名・衛星計画名などがあれば記入してください。
- ・特に下の分野では「推奨キーワード」の中からも選び、それらをキーワード欄の先頭に入れてください。

◎ 推奨キーワード

- 高密度星 : 白色矮星, 中性子星, ブラックホール, 新星, X線星, GRB, 降着円盤, MHD, ジェット, 連星進化
- 超新星爆発 : 重力崩壊, ニュートリノ, 衝撃波, 元素合成, 光度曲線, 超新星残骸
- 太陽 : 太陽内部, 光球, 彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ, CME, 太陽風
- 恒星 : 主系列星, 褐色矮星, 質量放出, ダスト, 惑星状星雲, 元素合成, メーザー, 恒星進化, 脈動
- 銀河 : 近傍銀河, 銀河系, 球状星団, 矮小銀河
- 銀河形成 : 銀河進化, 化学進化
- 地上観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, 重力波, 高エネルギー γ 線, 宇宙線
- 飛翔体観測機器 : 電波, 赤外線, 可視光, X線, γ 線, 重力波

(5) 講演の形式

- ・(a)口頭講演(9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表); (c)ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。
- ・講演者1人あたり可能な講演数は最大3件までです。また、(a)講演は1人1講演までで、3件目の講演は(c)講演(ポスターのみ)に限ります。
- ・口頭発表用にプロジェクトを用意します。プロジェクトに接続するパソコンはご自分でご用意ください。
- ・ポスター1枚あたりのボードの大きさは、プログラムに掲載します。(通常は縦180cm, 横90cmです。)

(6) 講演の申込方法

◆郵送による申込みの場合

- ・規定の原稿用紙に記入し、封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上、日本天文学会年会係までお送りください。
- ・規定の原稿用紙は必要枚数と送付先を明記の上、e-mailまたはFAXで天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申込みの場合

- ・年会のWebページに掲載します。

※講演は完成度の高いものに限ります。予稿の紙面を有効利用してください。予稿集は広範な読者が読むことを想定し、(i)十分な背景説明を行うこと、(ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること、の2点を心がけてください。これらに留意すれば、大抵は10行以上の予稿になるはずですが、以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は、受理しない場合があります。

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており、2011年8月20日付で発行する予定です。年会のwebページでも発行と同時に内容が公開されます。公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます。出版前の論文、特許に関係した論文等の講演をする際には、十分ご注意願います。

※講演者は氏名の欄で○をつけてください(必ずしも筆頭著者でなくても結構です)。講演登録費はこの講演者が支払ってください。

(7) 複数講演の順序指定

- ・グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込み後、期限内に下記1,2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号(分野, 発表形式を含む番号), 2. 講演者名

(b)講演は3件一括りが原則です。3件に満たない場合は、最初か最後に並べてください。また、ご希望に沿えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(8) ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

- PDL は、緊急性・トピックス性に富んだものに限ります。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由（個人的理由は不可）が必要です。通常の申込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。
- 上記の理由を添えて予稿原稿を期日までに年会実行委員会宛に送付してください。
- PDL の講演方法は、(b)ポスター講演・口頭発表付き（ポスターと3分間の口頭発表）、または(c)ポスター講演・口頭発表なし（ポスターのみ）です。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(9) 最新情報コーナー

- 最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。スペースがなくなれば、受け付けを終了します。

(10) 年会会期中の保育室

- 設置を検討中ですが、設置できない場合はご了承ください。詳細が決まりましたら、年会のWebページおよびtennetでご案内します。不明な点は年会実行委員（保育室担当）へe-mail(hoiku2011@nenkai.asj.or.jp)でお問い合わせください。

(11) 講演のキャンセルや変更

- やむをえず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更する理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。
- 講演登録者は、講演申込み後にキャンセル等しても講演登録費の返金はありません。

(12) 年会時の各種会合

- 会合などのために会議室や講演会場などを使用したい場合には、年会実行委員会までご連絡ください。会合が開けるのは、会期中の昼休み時間に限ります。
- 申込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 2011年6月28日（火）正午までに申込みをいただいた会合は、年会予稿集、天文月報に案内を掲載します。特に、一般の参加者に開かれた会合については、積極的に掲載して周知してください。

(13) 特別セッション・特別講演・招待講演

- これらは多くの会員が関心を持つ話題に関して開催するものですが、時間の都合上、秋季年会では原則として開催しないことになっています（春季年会でのみ開催）。しかし、今回に限り、春季年会で中止となった特別セッションを開催します。

(14) 懇親会

- 開催を検討中ですが、開催できない場合はご了承ください。詳細が決まりましたら、年会のWebページおよびtennetでご案内します。

(15) 旅費一部補助

日本天文学会では、正会員（学生）に年会出席旅費（交通費）の一部補助を行っております。希望者は、年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> をご覧ください。

幸村孝由（年会実行委員長）